

# イワヒバ

*Selaginella tamariscina* (Beauv.) Spring

## イワヒバ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

全県的に分布しているが園芸ブームによって大量に採取されて激減。(現況:V-)

### 形態

根は褐色で、茎のように見えるものを仮茎という。仮茎の先には葉のように見える茎を多くつくる。茎は2~3回分岐する。葉の縁には細かい鋸状の歯があり、葉の先には糸状の突起がある。葉は鱗片状で2型あり、4列につける。孢子嚢穂は四角柱で、枝先に1個つける。

### 国内分布

北海道南部から本州、四国、九州、沖縄、小笠原。

### 県内分布

口能登区、加賀中央区、南加賀区。

### 生態など

常緑性の着生植物である。耐寒性はきわめて強く寒い地方では冬は休眠し、葉が巻き込み紅色を帯びる。やや好陰湿潤地性で繁殖は孢子による。ごく稀に枝の先に近い部分が発根して分岐し、独立体になることがある。

### 生育環境

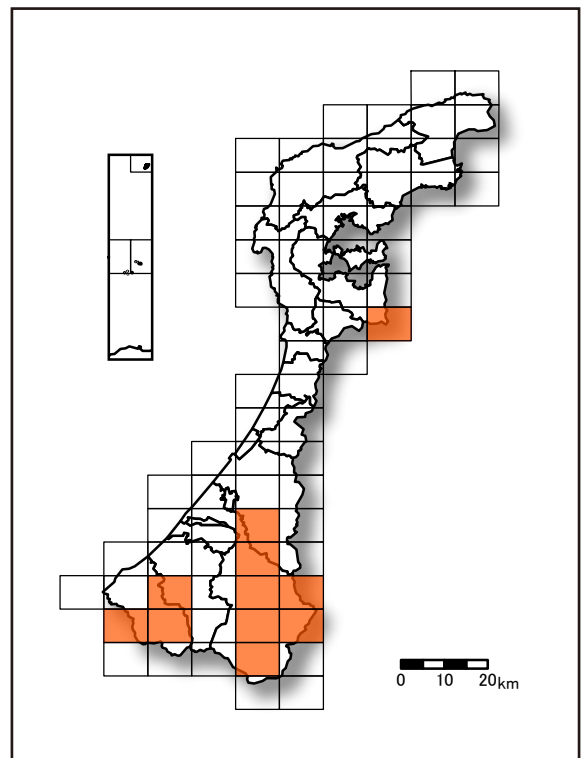
山地の岩上や岩壁、溪流の岸壁などに生育する。

### 危険要因

河川改修、道路工事、園芸採取。



白井伸和・2004年10月15日



県内の分布